

平成 23 年度第 6 回津市入札等監視委員会の会議結果報告

会議名 平成 23 年度第 6 回津市入札等監視委員会

開催日時 平成 24 年 2 月 6 日（月）
午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

開催場所 津市役所本庁舎 4 階庁議室

出席した者の氏名

月岡 存 委員長（三重大学名誉教授）

伊藤 庄吉 委員（行政書士）

滝澤 多佳子 委員（税理士）

西川 源誌 委員（弁護士）

土方 良明 委員（公認会計士）

事務局 小河副市長、総務部長、総務部次長
調達契約課長ほか 2 人

説明員 下水道建設課長ほか 3 人

内容 1 贈収賄事件等に係る報告について
2 入札・契約に関する報告について
(1) 入札及び契約手続の運用状況
(2) 指名停止措置等の運用状況
3 入札等監視業務について
入札・契約抽出事案の審議

公開又は非公開

公開

傍聴者の数 0 人

担当 総務部調達契約課工事契約担当

電話番号 059 - 229 - 3122

・議事の内容 下記のとおり

1 贈収賄事件等に係る報告について

これまで 3 回にわたって、本入札等監視委員会で御審議等をいただき、本年 1 月 12 日でいただきました本入札等監視委員会からのご意見等を市長に報告しましたことをお伝えいたします。

続きまして、職員の意見交換会の開催と職場環境の巡視を行いましたことを御報告いたします。

小河副市長が、特に建設部関係等の技術職員を対象に、組織の空気や雰囲気といったものの検証を目的に、若手技術職員と幹部職員に分けて 3 日間にわたり、延べ 6 回開催（若手技術職員 × 3 回、幹部職員 × 3 回）問題点の聞き取りや、意見交換を行いました。

また、併せて、小河副市長が、職員を取り巻く職場環境等をあらためて検証することを目的に、本年 1 月 26 日に、設計積算業務等を行う執務場所である下之川事務所や工事事務所等を巡視し、調査・確認してきました。

その検証結果等については、市長に報告を行う予定です。

続きまして、公判傍聴において判明したあらたな事実等について御報告いたします。

当該事件につきまして、本年1月17日に津地方裁判所で、第1回目の公判がありましたので、その公判を傍聴しましたところ、あらたに判明した事実がありましたので、御報告いたします。

起訴事実については、本市元職員、(株)大清建設代表取締役とともに、間違いはないとのことでした。

また、(株)大清建設が落札した工事以外にも、設計金額の内訳を教示した工事が、3件位ありましたが、増減調整が行われていたこと、また入札書の入れ忘れにより、落札には至っていませんでした。

働きかけについては、(株)大清建設代表取締役から、設計金額の教示について本市職員へ要求があり、落札後に現金を渡すことを決定したのも(株)大清建設代表取締役でした。

両者が知り合ったのは、平成21年10月頃であり、本市職員が小額の修繕工事等を(株)大清建設に発注する中、同社の代表取締役と次第に親しくなったとのことでした。

本市職員の動機は、「美杉という地域に知り合いがいない中、地元の要望も多く、業務の推進について悩んでいた。そんな中、代表取締役は頼りになる存在と感じていた。悪いこととの認識は十分あったが、代表取締役には世話になっているし、何とか力になりたい。また、代表取締役は、地元の自治会長であり、最終処分場建設の推進派でもあり、円滑に事業を進めたいという思いは強かった。」とのことでした。

代表取締役の動機は、「最終処分場の最初のバイパス工事であり、地元の業者、また最終処分場建設の推進派として地域にアピールするためにもどうしても落札したかった。また、入札額を決める際に通常は積算ソフトで積算しているが、下部土木工事は、あまり発注のない積算が困難な工事との認識があり積算に自信がなかった。最低制限価格が知り得ない中、設計金額の内訳を知ると他の入札者より優位になると思った。」とのことでした。

金銭の授受については、落札した工事の謝礼の10万円以外にも、5万円の授受が行われており、金銭以外にも、飲食接待も複数回受けていました。

なお、求刑は本市元職員が懲役2年、追徴金10万円で、代表取締役が懲役1年6カ月で、次回裁判（判決）は2月16日です。

2 入札・契約に関する報告について

(1) 入札及び契約手続の運用状況

Q 事後審査型一般競争入札と参加意思確認型指名競争入札の違いを教えてください？

A 事後審査型一般競争入札は、公告に記載されている入札参加資格要件に該当する者は自由に入札に参加し、開札後、落札候補者のみ事後で審査を行う入札方式です。対して、参加意思確認型指名競争入札は、予め参加資格を有する者を指名し、その参加意思を確認した上で入札を行う方式です。

Q 今回の審議対象案件である平成23年10月から同年12月の入札結果において、参加者数が1者の案件や少数の案件が多い気がしますが、何か理由があるのでしょうか？

A 例えばポンプ場等の特殊な機器の修繕である場合、鉄道近接地の工事のため参加資格要件において、軌道工事管理者や軌道敷内の施工実績等を求めている場合、施工に手間のかかる災害復旧工事等である場合等、案件により様々な理由ではないかと推測します。

Q 参加者の格付区分は違いますが、同じ土木工事で、施工場所も同じ美杉町の工事であるにもかかわらず、参加者数が多いものと、極端に少ない案件がありますが、何か理由があるのでしょうか？

A 参加者数が少なかった案件のうち、1件は鉄道近接地の工事であったこと、もう1件は、比較的小額な工事であり、同時期に他の発注案件もある中、設計額や工期、また技術者の配置等を勘案して参加を見合わせたのではないかと推測します。

(2)指名停止措置等の運用状況

Q (株)大清建設は、競売入札妨害と贈賄でそれぞれ24カ月間の指名停止措置を受けていますが、重複期間がありますので期間としては、約25カ月間となっています。最初の指名停止期間が終了した後に、次の指名停止を行うといった加算方式での指名停止措置はできないのでしょうか？

A 国交省や三重県の取扱いも参考に措置したところですが、指名停止期間中に再度の指名停止措置を受けた場合は、中央公契連指名停止モデルの逐条解説に基づき、再度の指名停止措置を決定した時期を再度の指名停止の始期としています。

Q 今回のケースのように、既に指名停止になっているところへ更に指名停止措置を行うことは、実質的にはあまり意味のないこともあると思います。ルールに基づくものであることは理解できますが、不正を防ぐ効果といった意味からは、ペナルティの科し方について研究していただく。

3 入札等監視業務について

入札・契約抽出事案の審議

(1) 平成23年度下建公補第2号

半田川田ポンプ場（下部土木）築造工事

<条件付一般競争入札（工事）>

Q 本件は高額な工事ですが、総合評価方式による発注は検討されたのでしょうか？

A 本件については、総合評価方式での発注を検討しましたが、現在、総合評価の問題点については、試行結果等を踏まえ分析、研究していること、また、当該工事については資材費等の占める割合により高額な工事となっていること等の理由から、条件付一般競争入札による発注を行いました。

Q 本件の施工場所は、既に津市の所有になっているのでしょうか？

A 本市の所有となっています。

Q 例えば、土地の売主と落札者の間に何か利害関係があるといったこと

は考えられるのでしょうか？

A 特に関係はないと考えられます。

Q 本件は、新築のポンプ場ということでしょうか？

また、修繕等のメンテナンスは、1者随意契約になるのでしょうか？

A 新たにポンプ場を建設するものです。

また、修繕等のメンテナンスは、原則として競争入札により行っていますが、特殊な技術等、他の者が有し得ない専門的な知識を必要とする場合等においては、1者随意契約によることもあり得ます。

Q 本件はポンプ場の下部土木工事ですが、今後、完成までに工事費としてはどれくらいの金額が必要となるのでしょうか？

A あくまで概算となりますが、今後、下部土木工事以外の土木工事に約6億円、上屋となる建築工事やポンプ設置工事、電気工事等に約27億円程度の工事費が必要になると思われます。

Q 意見として聞いていただきたいのですが、本件のように予定価格が4億円を超えるような工事において、落札額が100万円程度低くても工事の品質には大きな影響がないように思います。最低制限価格制度というルールの中では仕方ないことなのかもしれませんが、税金の有効利用といった観点からみれば、品質に影響がなければ安い方がいいので、例えば最低制限価格に一定の幅を持たせるような最低制限価格帯のような考え方はできないのでしょうか。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(2) 平成22年度下建公補第82号

棕本2号幹線築造工事

<事後審査型条件付一般競争入札(工事)>

Q 本件工事は、 m^2 当たり約100万円もかかるものなのでしょうか？

A 本件工事は、推進工法という特殊な工法により施工を行う工事で、立坑から横方向に推進機で、地中を掘削しつつ文字通り押し進めて、下水道管を埋設する工法です。推進工法は、開削工法に比べ路面を掘割ることが少なくなるため、騒音等の工事公害の低減、通行止めの期間の減少等、交通や市民生活への影響が少なく都市環境対策に優れている一方、特殊な工法であるため開削工法と比較し割高となります。

Q 開削工法で工事を行った場合は、どれくらいかかるのでしょうか？

A 一概には言えませんが、 m^2 当たり約10万円程度だと思われます。

Q 工法の決定はどのように行っているのでしょうか？

A 管の埋設箇所の深さ等の工事内容に加え、交通量等の現場の状況を勘案した上で決定しています。

Q 同じ工事名で不調となった工事がありますが、再発注の工事ということでしょうか？

A 本件は、平成23年11月2日に入札を執行し、不調となった工事を再発注した工事ですが、当初219mの推進工事としていたものを工期の確保を勘案して58mと161mに分離して再発注したものです。

Q 当初の入札では、入札参加者の全者が最低制限価格を下回って不調と

なり、分離再発注後においては、一方の入札は最低制限価格未満で失格となった者は無く、もう一方の入札は落札には至っているもののほとんどの者が最低制限価格未満で失格となっています。この結果は、一見不自然な感じもしますが、何か理由は考えられるのでしょうか？

A 明確な理由はわかりませんが、2件の工事の再発注時期は2ヶ月あまり異なるところでもあり、推進工事の距離等の工事内容や工期等が影響したのではないのでしょうか。

Q 入札参加者の全者22者が最低制限価格を下回って不調となっているということは、工事の専門家であるプロの業者の目から見て、公共の設定する最低制限価格が実勢価格と比較して高すぎたとは考えられないのでしょうか？

A 本件のように全者が最低制限価格未満で失格となる案件もありますことから、最低制限価格の設定については、より適正な設定ができるように今後も入札結果等を検証してまいりたいと思います。

Q 当初の発注で不調となった際の最低制限価格と分離発注した2件の工事の落札額の合計を比較すると、どんな関係になっているのでしょうか？

A 当初の発注については全者が最低制限価格未満で失格となっていますため、設計金額で比較しますと分離を行わない当初の発注の方が、税額抜きで約250万円安くなります。

Q 当初に不調となった時に、工事内容を変更せずもう一度再発注することは検討されたのでしょうか？

A 検討は行ったのですが、工事の完成時期等を勘案して分離発注を行いました。

* 本件については一部今後に検討いただくもののそれ以外は概ね適正に処理されているものと認める。

(3) 平成23年度環新補第1 - 3号

津市リサイクルセンター建設に係る地形測量業務委託

<事後審査型条件付一般競争入札(委託)>

Q 測量業務においては、経費のうちそのほとんどが人件費だと思われるので、圧縮できる性格の経費もあるのではないかと考えます。最低制限価格制度の中でのことではありますが、数千円最低制限価格を下回っても、品質に差が出るとは思えませんので、税金の有効利用という観点からも、何かいい方法はないのでしょうか？

A 最低制限価格制度の目的は、品質確保のためのものであり、入札額を最低制限価格に誘導するものではないのですが、結果として、最低制限価格を狙っての入札になっていることは否めません。最低制限価格制度の下では、やむを得ない部分もありますが、最低制限価格制度の考え方を踏まえた上で、今後もより良い制度を研究してまいりたいと考えています。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(4) 平成23年度介護補第2 - 1号

津市介護老人保健施設つつじの里等冷温水発生器修繕

< 随意契約 >

Q 本件は、「他の者が有し得ない専門的知識及び技術等を必要とし、特定の１者しか履行できないもの。」として地方自治法施行令第１６７条の２第１項第２号により随意契約を締結していますが、設備のシステムや方式がメーカーにより全く違う訳ではないと思いますので、レベルは違うかもしれませんが他の業者でも修繕は可能なのではないのでしょうか？

A 当該空調設備は、設計者であり既設業者でもある㈱荏原製作所製のいわゆるワンオフの特殊機器であり、専門性も高く、部品等の材料も荏原製のものを必要としているところであるため、当該業者と随意契約を行いました。

Q 見積徴取を２回行っていますが、１回目の見積額と比較し、２回目は６０万円安くなっています。６０万円安くなった理由については見積者から確認等されているのでしょうか？

A ６０万円安くなった理由については、特に確認していません。予定価格は非公表としていますので、見積業者それぞれの考え方や利幅を勘案してのことと思われる。

Q 積算して算出した予定価格と、業者からの見積書の内訳等を比較し検討するといったことは行っていないのでしょうか？

A 本件の設計は、三重県建設技術センターに委託をしていますので、当該センターにおいて参考見積書の徴取を行っていると思われますが、当該委託の成果物である設計書については、津市建設部営繕課において再度、精査、チェックして発注を行っています。

Q こういった１者随意契約の場合は、他者との競争はありませんので、見積者は予定価格の積算方法や内容を把握しておけば、高い額での落札が可能となります。例えば、見積書の内訳と予定価格の内容を比較し検討する等の方法をとることにより、契約額を抑えることも可能になるのではないのでしょうか？

１者随意契約は、どうしても落札率が高くなりがちですので、何か工夫等があってもいいと思います。

A 設計において汎用品ではない部品等については参考見積書に依らざる得ないところもありますが、いわゆる手間賃等の経費などは積算基準に基づき精査し、また部品等の価格についても出来る限り精査しているところ。

Q 三重県建設技術センターとは、こういった組織なのでしょうか？

A 三重県建設技術センターは、発注者支援機関として認定されている公益財団法人です。

Q 見積額が予定価格の範囲内でも、もう１回見積を徴取すれば、もっと安く契約ができたのではないかと考えてしまいますが。

A 予定価格は本市が希望する上限価格でもありますので、予定価格の範囲内であれば落札となります。御指摘のとおり、それだけ予定価格の積算が重要であると認識しています。

Q 修繕ではなく新品と取り換えた場合は、どれくらいの経費が必要とな

るのでしょうか？

また、当該冷温水発生器は設置後、何年くらい経過しているのでしょうか？

A 新品ですと概ね1台あたり3,250万円くらいで、今回の修繕は3台ですので、新品に取り換えたとすれば合計1億円近くとなります。

また、設置は平成12年4月でしたので、11年を経過しての修繕ということになります。

Q 今回が設置後初めての修繕なのでしょうか？

A 維持管理のための修繕はこれまでも行っていますが、大がかりな修繕は今回が初めてとなります。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

条件付一般競争入札

No. 1

件 名	平成23年度下建公補第2号 半田川田ポンプ場(下部土木)築造工事
落 札 者	(有)大村建設
業 種 (格 付)	土木一式 A 1
施 工 場 所	半田及び神戸地内
工 期	契約締結日(平成23年12月19日)から600日間(平成25年8月9日)
工 事 概 要	躯体工 一式 着水井 沈砂池 吸水槽 ポンプ室 吐出井
入 札 方 法	条件付一般競争入札
入 札 日 時	平成23年11月11日 午前9時00分
入 札 参 加 資 格 要 件	地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しないこと。 津市建設工事等条件付一般競争入札実施要領(平成18年1月1日施行。以下「要領」という。)第4条第1項に掲げる要件を備えていること。 要領第4条第2項各号の一に該当しないこと。 本市の区域内に本店を有すること。 建設業法(昭和24年法律第100号)第3条に規定する特定建設業の許可(土木工事業)を受けていること。 津市競争入札参加資格者名簿において土木一式工事を希望業種として登載されていること。 土木一式工事に係る格付区分がA1であること。 本件工事に土木一式工事の監理技術者を専任で配置できること(入札参加申請時において他の工事等との重複をしていないこと。)

予 定 価 格	474,752,000 円
落 札 価 格	406,850,000 円
最低制限価格	406,787,000 円
落 札 率	すべて税抜き 85.70 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	(株)林組	404,180,000	失格(最低制限価格未滿)
2	(株)河合組	404,500,000	失格(最低制限価格未滿)
3	北嶋建設(株)	405,148,000	失格(最低制限価格未滿)
4	勢和建設(株)	405,554,000	失格(最低制限価格未滿)
5	(株)藤田組	405,883,000	失格(最低制限価格未滿)
6	藪建設(株)	405,900,000	失格(最低制限価格未滿)
7	東進産業(株)	405,916,000	失格(最低制限価格未滿)
8	(株)藤谷建設	406,089,000	失格(最低制限価格未滿)
9	(株)大栄建設	406,340,000	失格(最低制限価格未滿)
10	(株)アイケーディ	406,396,000	失格(最低制限価格未滿)
11	(株)西川組	406,455,000	失格(最低制限価格未滿)
12	(株)広山建設	406,523,000	失格(最低制限価格未滿)
13	(有)大村建設	406,850,000	落札決定
14	河芸建設(株)	406,920,000	
15	東海土建(株)	407,079,000	
16	(有)小林組	407,270,000	
17	(株)ジェイエイ津安芸	407,333,000	
18	日本土建(株)	407,353,000	
19	安濃建設(株)	408,638,000	
20	三重農林建設(株)	411,200,000	

事後審査型条件付一般競争入札

No 2

公 告 日	平成23年11月14日	工 事 担 当 課	下水道建設課
工 事 名	平成 2 2 年度下建公補第 8 2 号 棕本 2 号幹線築造工事		
工 事 場 所	津市 芸濃町棕本 地内		
工 事 概 要	管推進工(管径250～300mm) 58m 管布設工(管径200mm) 11m 組立マンホール工 4箇所		
工 期	契約締結の日から 平成24年3月21日 まで		
発注業種	土木一式		
参加資格に関する事項	建設業許可	特定	
	所在地要件	市内本店	
	格付要件	A 1 ・ A 2	
	地 域 ・ 格付要件	【ﾌﾞﾛｯｸ】	【地区】
		【ﾌﾞﾛｯｸ】	【地区】
		【ﾌﾞﾛｯｸ】	【地区】
		【ﾌﾞﾛｯｸ】	【地区】
	同種工事実績要件		
	技術者要件	主任(監理)技術者	同業種の監理技術者(専任配置)
		現場代理人	常駐配置(監理技術者と兼務可)
		専門技術者	推進工事技士(推進工事施工時における専任配置) (監理技術者・現場代理人と兼務可)
	その他要件		
設計図書の閲覧	閲覧期間	本公告の日から 平成23年12月2日 まで	
	閲覧場所	調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所	
設計図書の購入	購入期間	本公告の日から 平成23年12月2日 まで	
	販売店	アサヒ感光社 津市半田141 059-226-5214	
設計図書等に関する質問	提出期限	平成23年11月22日 午後 5 時 まで	
	回答日	平成23年11月29日 ホームページにて回答	
	提出先	調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) F A X 059 - 229 - 3333	
入札方法等	入札方法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)	
	提出期限	平成23年12月2日 必着	
	郵送先	〒514-8799 郵便事業(株)津支店 留 津市役所 調達契約課 宛	
開札日時及び場所	平成23年12月7日 午前10時45分 津市役所(本庁舎)7階 入札室		
予定価格	68,670,000 円 (税抜き)		
最低制限価格	有		
入札保証金	免除		
契約保証金	契約金額の100分の10以上		
前金払	有		
部分払	無		
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 ・配置技術者について、3ヶ月以上の雇用関係が継続していること。		

予 定 価 格	68,670,000	円
落 札 価 格	57,174,000	円
最低制限価格	57,165,000	円
落 札 率	83.26	%

すべて税抜き

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	(有)小林組	57,174,000	落札決定
2	(有)大村建設	57,200,000	
3	本堂建設(有)	57,231,000	
4	(株)アイケーディ	57,247,000	
5	三重農林建設(株)	57,255,000	
6	(株)マエダ組	57,258,000	
7	(株)広山建設	57,288,000	
8	藪建設(株)	57,308,000	
9	勢和建設(株)	57,346,000	
10	(株)藤田組	57,388,000	
11	(株)星山組	57,393,000	
12	(株)大栄建設	57,408,000	
13	日本土建(株)	57,433,000	
14	(株)カンキョー	57,437,000	
15	河芸建設(株)	57,442,000	
16	安濃建設(株)	57,451,000	
17	大和建設(株)	57,470,000	
18	(株)西川組	57,517,000	
19	(株)林組	57,557,000	
20	(株)ジェイエイ津安芸	57,565,000	
21	(株)藤谷建設	57,566,000	
22	(株)土生組	57,916,000	

事後審査型条件付一般競争入札

№ 3

公 告 日	平成23年10月3日	業 務 担 当 課	新最終処分場建設推進課		
業 務 名	平成23年度環新補第1 - 3号 津市リサイクルセンター建設に係る地形測量業務委託				
業務場所	津市 片田中町及び野田 地内				
業務概要	基準点測量 一式 平板測量 0.14km ² 路線測量 0.55km				
期 間	契約締結の日から 平成24年1月19日 まで				
発注業種	測量				
参加資格に関する事項	登録要件	業種	測量	部門	測量一般
		測量法（昭和24年法律第188号）第55条第1項の規定による登録を受けていること			
	所在地要件	市内本店			
	当該業種における営業収入金額要件	市内本店	営業収入金額を有すること		
	同種業務実績要件				
	技術者要件	主任技術者	測量士（本市発注業務における専任配置）		
その他要件					
設計図書の閲覧	閲覧期間	本公告の日から 平成23年10月14日 まで			
	閲覧場所	調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所			
設計図書の購入	購入期間	本公告の日から 平成23年10月14日 まで			
	販売店	アサヒ感光社 津市半田141 059-226-5214			
設計図書等に関する質問	提出期限	平成23年10月6日 午後5時 まで			
	回答日	平成23年10月11日 ホームページにて回答			
	提出先	調達契約課工事契約担当（津市役所本庁舎7階） F A X 059 - 229 - 3333			
入札方法等	入札方法	郵便入札（一般書留・簡易書留に限る）			
	提出期限	平成23年10月14日 必着			
	郵送先	〒514-8799 郵便事業（株）津支店 留 津市役所 調達契約課 宛			
開札日時及び場所	平成23年10月19日 午前9時15分 津市役所（本庁舎）7階 入札室				
予定価格	9,821,000 円 （税抜き）				
最低制限価格	有				
入札保証金	免除				
契約保証金	契約金額の100分の10以上				
前金払	有				
部分払	無				
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 本市発注業務とは調達契約課又は水道局発注業務で、担当課執行分を除く。				

予 定 価 格	9,821,000	円
落 札 価 格	7,135,000	円
最低制限価格	7,117,000	円
落 札 率	72.65	%

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	(株)YUME技術	6,773,000	失格(最低制限価格未満)
2	(株)中央鑑定コンサルタント	7,071,000	失格(最低制限価格未満)
3	(有)サンユニティー設計	7,072,000	失格(最低制限価格未満)
4	(株)三重中央コンサルタント	7,078,000	失格(最低制限価格未満)
5	(有)清原土木サポート	7,082,000	失格(最低制限価格未満)
6	(有)アルファブラン	7,082,000	失格(最低制限価格未満)
7	匠技術(株)	7,085,000	失格(最低制限価格未満)
8	(有)新興測量設計	7,088,000	失格(最低制限価格未満)
9	(有)山川測量設計	7,089,000	失格(最低制限価格未満)
10	(株)東光測量設計事務所	7,092,000	失格(最低制限価格未満)
11	(有)アイシン地測	7,093,000	失格(最低制限価格未満)
12	(株)三重新成コンサルタント	7,098,000	失格(最低制限価格未満)
13	杉山コンサルタンツ(株)	7,102,000	失格(最低制限価格未満)
14	(株)三洋開発	7,106,000	失格(最低制限価格未満)
15	(有)東海プロジェクト	7,106,000	失格(最低制限価格未満)
16	(有)テクノスリー	7,111,000	失格(最低制限価格未満)
17	刀根測量設計事務所	7,111,000	失格(最低制限価格未満)
18	(株)福田測量社	7,112,000	失格(最低制限価格未満)
19	(有)藤川測量設計事務所	7,112,000	失格(最低制限価格未満)
20	正和測量設計(株)	7,112,000	失格(最低制限価格未満)
21	(株)信榮企画	7,112,000	失格(最低制限価格未満)
22	(有)三重シビルシステム	7,112,000	失格(最低制限価格未満)
23	南海カツマ(株)	7,113,000	失格(最低制限価格未満)
24	(株)志登茂コンサルタント	7,113,000	失格(最低制限価格未満)
25	(株)若鈴	7,114,000	失格(最低制限価格未満)
26	新三重技術開発(株)	7,114,000	失格(最低制限価格未満)
27	(株)三重補償鑑定システム	7,115,000	失格(最低制限価格未満)
28	(有)ナカムラ測量設計	7,135,000	落札決定
29	(株)東海測量設計	8,800,000	

件 名	平成23年度介護補第2 - 1号 津市介護老人保健施設つつじの里等冷温水発生器修繕
見 積 者	荏原冷熱システム(株)中部支店
業 種	管
施 工 場 所	白山町二本木 地内
工 期	平成24年1月20日
工 事 概 要	冷温水発生器修繕 冷温水発生器 3台
契 約 方 法	随意契約
見 積 日 時	平成23年10月26日 午後1時30分
随意契約理由	当該修繕は、津市介護老人保健施設つつじの里等の空調設備に係る冷温水発生器の経年劣化等に伴う修繕を行うものです。 当該修繕には、当該空調設備の既設業者である株式会社荏原製作所製の特殊機器、材料を必要とし、他者が有しない専門的知識、特殊技術が必要とされ、株式会社荏原製作所の系列会社で、空調機器の保守点検及び維持修繕を行う専門業者である荏原冷熱システム株式会社中部支店以外に施工が困難であることから、「他の者が有し得ない専門的知識及び技術等を必要とし、特定の1者しか履行できないもの。」として地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約。

予 定 価 格 13,610,000 円

落 札 価 格 13,600,000 円

最低制限価格 - 円

すべて税抜き

比 率 99.93 %

下記見積金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

者数	見 積 者	第1回	第2回	第3回	備考
1	荏原冷熱システム(株)中部支店	14,200,000	13,600,000		決定